

# 新型コロナウイルス感染症に伴う実態調査

【調査期間】 令和2年5月15日～令和2年5月25日

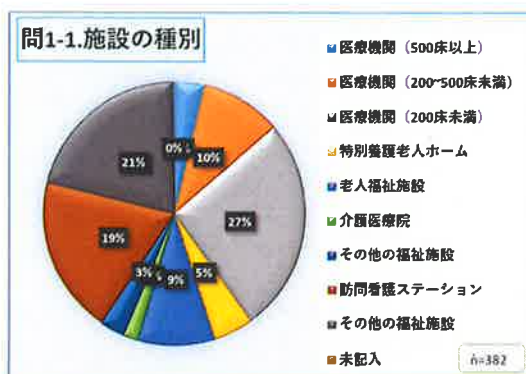
【調査対象者】 静岡県看護協会会員の所属する病院・訪問看護ステーション・福祉施設等の施設代表者  
528施設 528名

【方法】 新型コロナウイルス感染症に伴う実態調査についてのアンケート用紙送付による記述式

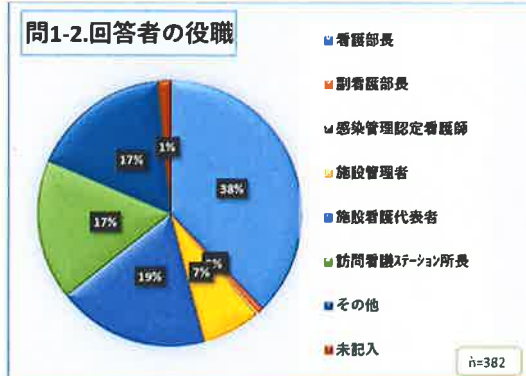
【回収率】 528施設中 382施設からの回答があり、回収率は72.3%であった。

n = 382

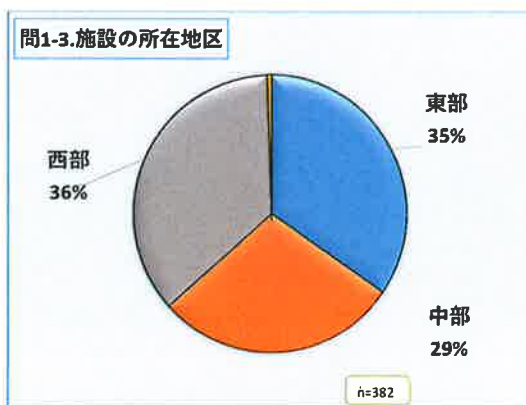
問1-1.施設の種別	施設数
医療機関（500床以上）	14
医療機関（200～500床未満）	38
医療機関（200床未満）	101
特別養護老人ホーム	19
老人保健施設	36
介護医療院	7
その他の福祉施設	12
訪問看護ステーション	74
その他	80
未記入	1



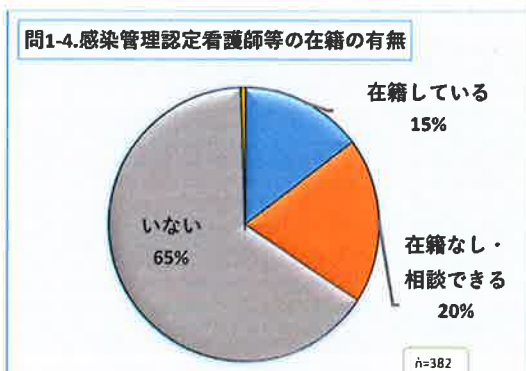
問1-2.回答者の役職	施設数
看護部長	144
副看護部長	3
感染管理認定看護師	1
施設管理者	27
施設看護代表者	71
訪問看護ステーション所長	65
その他	65
未記入	6



問1-3.施設の所在地区	施設数
東部	132
中部	111
西部	137
未記入	2



問1-4.感染管理認定看護師等の在籍の有無	施設数
感染管理認定看護師等が在籍している	55
在籍なし・相談できる	75
いない	250
未記入	2



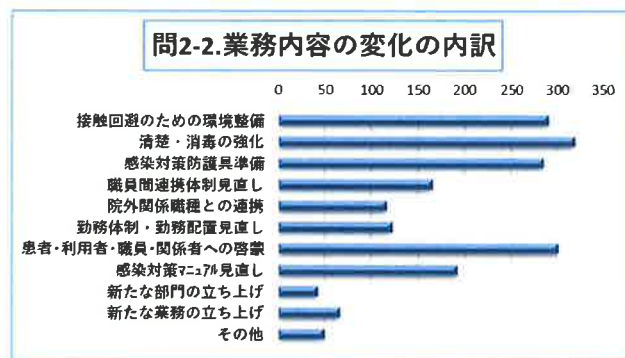
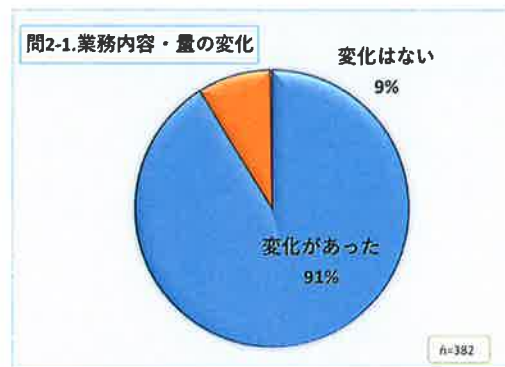
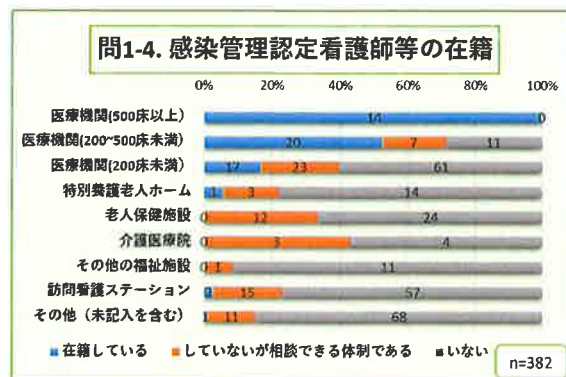
感染管理認定看護師等が在籍している施設は全体の15%にとどまり、いないが相談できる環境である施設を含めても半数に満たない状況であった。

問1-4. 感染管理認定看護師等の在籍	在籍している	していないが相談できる体制である	いない
医療機関(500床以上)	14	0	0
医療機関(200~500床未満)	20	7	11
医療機関(200床未満)	17	23	61
特別養護老人ホーム	1	3	14
老人保健施設	0	12	24
介護医療院	0	3	4
その他の福祉施設	0	1	11
訪問看護ステーション	2	15	57
その他(未記入を含む)	1	11	68

施設別にみると200床未満の医療機関と介護施設等や訪問看護ステーションには感染管理認定看護師等は殆ど在籍しておらず支援が必要であることがわかった。

問2-1. 業務内容・量の変化	施設数
変化があった	348
変化はない	33
未記入	1

問2-2. 業務内容の変化の内訳(複数回答)	回答数
接触回避のための環境整備	291
清掃・消毒の強化	319
感染対策防護具準備	285
職員間連携体制見直し	165
院外関係職種との連携	116
勤務体制・勤務配置見直し	122
患者・利用者・職員その他関係者への啓蒙	301
感染対策マニュアル見直し	192
新たな部門の立ち上げ ※ <sup>1</sup>	42
新たな業務の立ち上げ ※ <sup>2</sup>	66
その他	49



新型コロナ感染拡大に伴い業務内容や業務量に変化があった施設は91%で、内容は清掃・消毒の強化、患者利用者職員への啓蒙、接触回避のための環境整備、感染対策PPE準備の項目において変化を感じている。

問2-2 《新たに立ち上げた主な部門》 ※<sup>1</sup>

- ・発熱外来やPCR検査センター
- ・COVID-19対策会議や新型コロナウイルス感染症対策に関する委員会
- ・感染病棟担当チームや陽性者受け入れ病棟の開設
- ・院内臨時託児所
- ・新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口 等

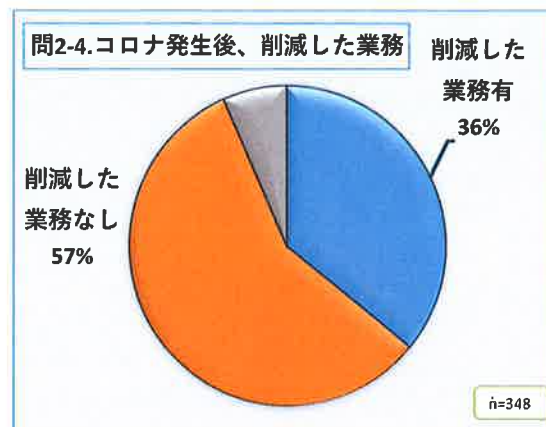
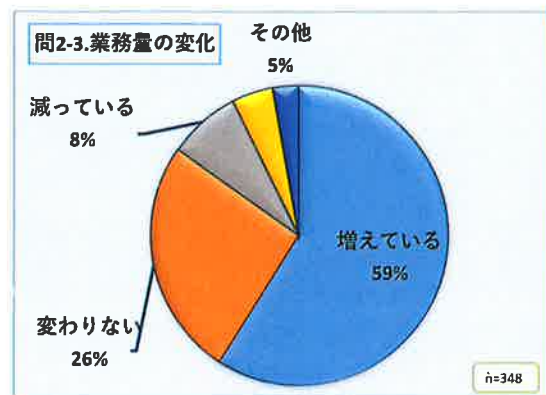
問2-2 《新たに立ち上げた主な業務》 ※<sup>2</sup>

- ・全ての外来患者に対する体調管理・体温測定、外来でのスクリーニング
- ・職員及び業者等の健康チェック・体温測定
- ・入居者及び家族との連絡対応、オンライン面会等
- ・感染対策備品の管理
- ・医療者へのサポート
- ・新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口
- ・オンライン授業に関する対策 等

問2-3.業務量の変化	回答数
増えている	207
┌・1.5倍くらい	159
└・2倍くらい	
└・それ以上	
┌・未記入	17
└	
変わらない	89
減っている	27
その他	16
未記入	9

問2-4.コロナ発生後、削減した業務	回答数
削減した業務有 ※ <sup>3</sup>	125
削減した業務なし	200
未記入	23

業務量が増えた施設は59%であった。増加量としては1.5倍が77%であった。業務量は増えたが削減した業務がある施設は36%であった。削減した業務内容は会議や委員会、健診や検査、手術などであった。

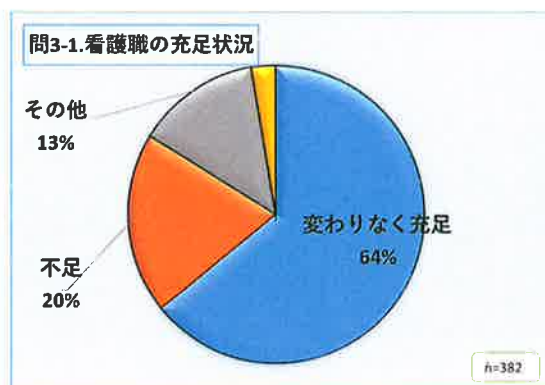


問2-3 《削減した主な業務》 ※<sup>3</sup>

- ・会議、委員会や研修
- ・検査や健康診断業務、延期できる手術
- ・家族面談・面会
- ・学校行事（入学式や保護者会、学園祭等）、進路説明会 等

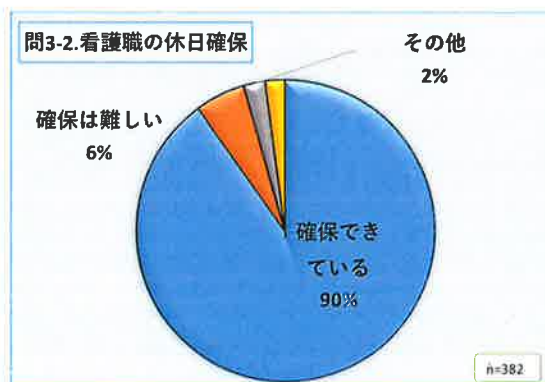
問3-1.看護職の充足状況	施設数
変わりなく充足	245
不足	75
その他	52
未記入	10

看護職の充足状況については充足している施設が64%と半数以上を占め、不足は20%であった。

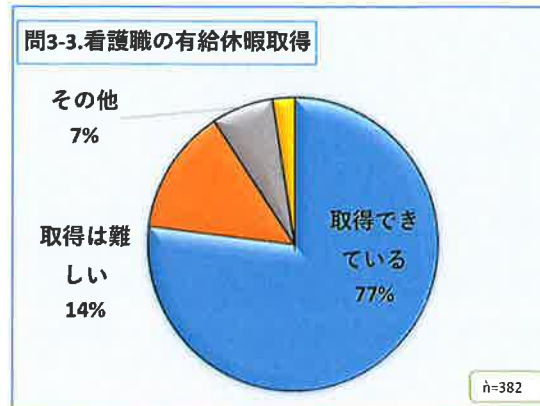


問3-2.看護職の休日確保	施設数
確保できている	344
確保は難しい	21
その他	9
未記入	8

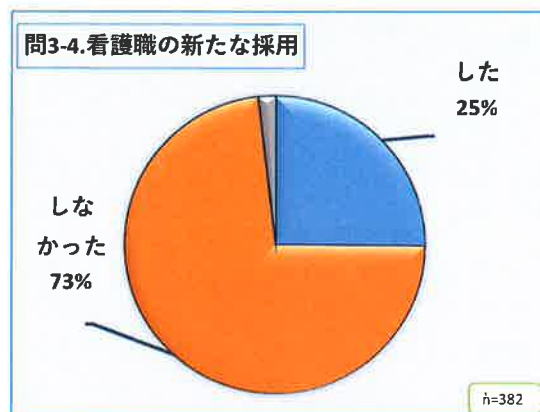
看護職の休日確保については90%の施設で確保ができていた。



問3-3.看護職の有給休暇取得	施設数
取得できている	294
取得は難しい	53
その他	26
未記入	9

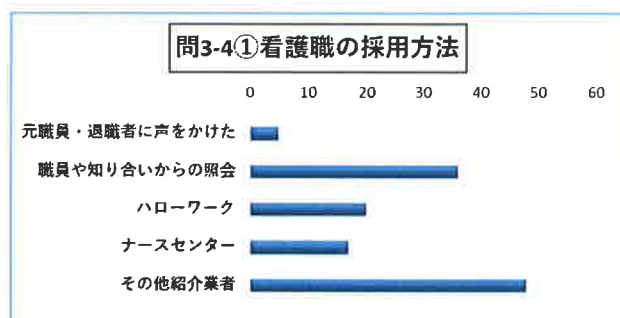


問3-4.看護職の新たな採用	施設数
した	96
しなかった	279
未記入	7



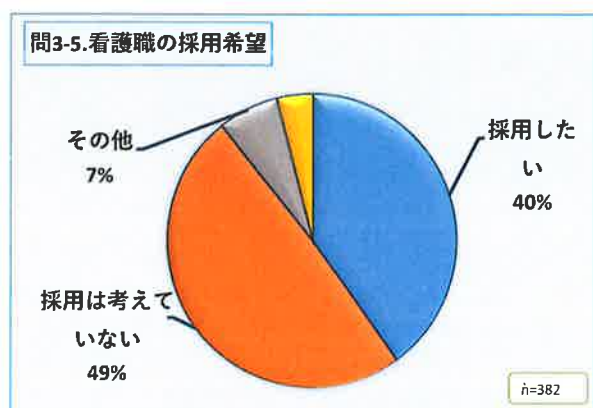
看護職の新たな採用については25%の施設で採用をしている。

問3-4.①看護職の採用方法（複数回答）	回答数
元職員・退職した人に声をかけた	5
職員や知り合いからの紹介	36
ハローワーク	20
ナースセンター	17
その他紹介業者	48



採用方法に関しては職員や知り合いからの紹介もあるが、その他の紹介業者が最も多かった。

問3-5.看護職の採用希望	施設数
採用したい	153
採用は考えていない	188
その他	26
未記入	15

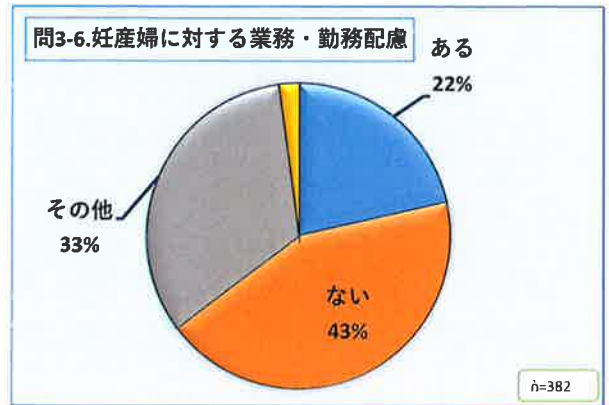


新型コロナウイルス感染症で新たに採用した施設は25%あったが、採用したい施設は40%であり、新型コロナウイルス感染症に関係なく看護職の採用を考えている施設がある。

採用する場合の希望する勤務形態は夜勤可能な常勤看護師が圧倒的に多かった。

問3-6.妊産婦に対する業務・勤務配慮	施設数
ある	82
ない	165
その他	127
未記入	8

配慮をしている施設は 22%、特にしていない施設は 43%、その他 33%であった。記述参照 ※<sup>4</sup>



問 3-6 《妊産婦への具体的な業務・勤務配慮》 ※<sup>4</sup>

- ・感染症を疑う患者との接触を避けたり、部署異動等で直接的な接触を避ける配慮をしている
- ・面接を行い、希望する働き方を確認
- ・休業や時間短縮勤務とした 等

問3-7.保育園等の休園等で仕事を休む職員	施設数
いる	229
いない	130
その他	13
未記入	10

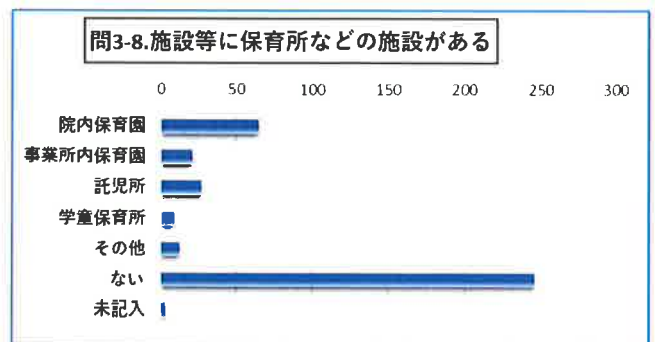
何らかの理由で休む職員が 60%おり、子供の預け先に苦慮していたことが分かった。記述参照 ※<sup>5</sup>



問 3-7 《保育園等の休園・休校に伴う場合の対応》 ※<sup>5</sup>

- ・特別休暇の取得や休業補償についての手続きの説明
- ・院内託児所の拡充、臨時学童の立ち上げ
- ・勤務時間の短縮、有休 等

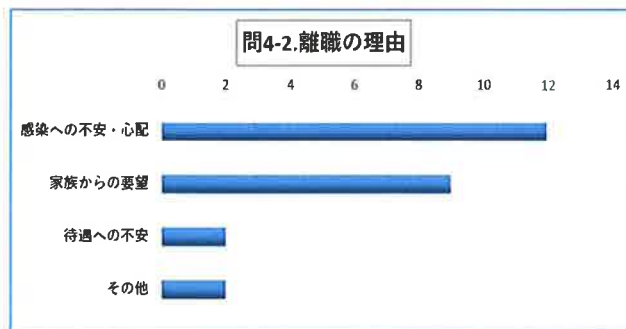
問3- 8.施設等に保育所などの施設がある (複数回答)	回答数
院内保育園	65
事業所内保育園	21
託児所	27
学童保育所	9
その他	13
ない	246
未記入	3



問4-1.看護職の離職	施設数
退職者がいる	9
退職希望者はいたが現在は働いている	6
いない	361
その他	2
未記入	4

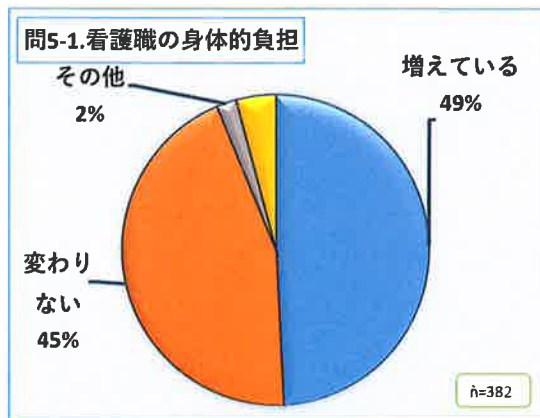


問4-2.離職の理由（複数回答）	回答数
感染への不安・心配	12
家族からの要望	9
待遇への不安	2
その他	2



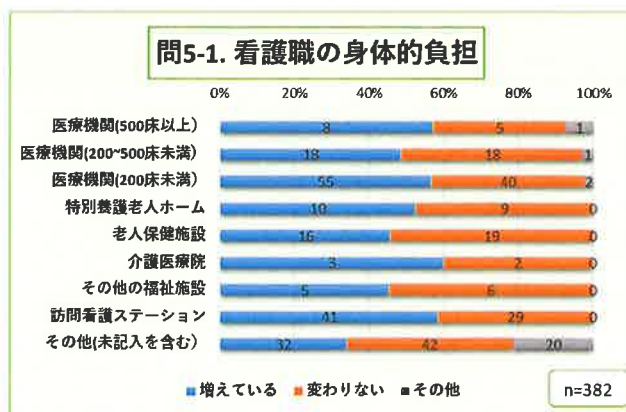
新型コロナウイルス感染症を理由とする退職者は2%と少なかったが、感染への不安・心配や家族の要望で離職をしている。

問5-1.看護職の身体的負担	施設数
増えている	188
変わらない	170
その他	8
未記入	16



身体的負担の増えている施設は49%であった。防護服の着脱、環境整備、清掃、消毒などの感染対策や患者・家族への対応の負担が多くあった。（具体的な内容は別紙①参照）

問5-1. 看護職の身体的負担	増えている	変わらない	その他
医療機関(500床以上)	8	5	1
医療機関(200~500床未満)	18	18	1
医療機関(200床未満)	55	40	2
特別養護老人ホーム	10	9	0
老人保健施設	16	19	0
介護医療院	3	2	0
その他の福祉施設	5	6	0
訪問看護ステーション	41	29	0
その他(未記入を含む)	32	42	20



身体的負担の割合は施設別には大きな差はなかった。

問5-2.看護職の精神的負担	施設数
増えている	293
変わらない	73
その他	5
未記入	11

精神的負担の増えている施設は77%であった。自身及び家族への感染の不安が多く緊張感や重圧感をもって勤務していることがわかる。

(具体的な内容は別紙②参照)

問5-2. 看護職の精神的負担	増えている	変わらない	その他
医療機関(500床以上)	12	1	1
医療機関(200~500床未満)	28	8	1
医療機関(200床未満)	80	19	0
特別養護老人ホーム	16	3	0
老人保健施設	24	11	0
介護医療院	4	2	0
その他の福祉施設	10	2	0
訪問看護ステーション	66	7	0
その他(未記入を含む)	53	20	14

施設別では500床以上の病院や訪問看護ステーションの精神的負担がやや多かった。

問5-3.職員の健康状態・精神状態の把握	施設数
している	214
しているが十分でない	142
していない	12
未記入	14

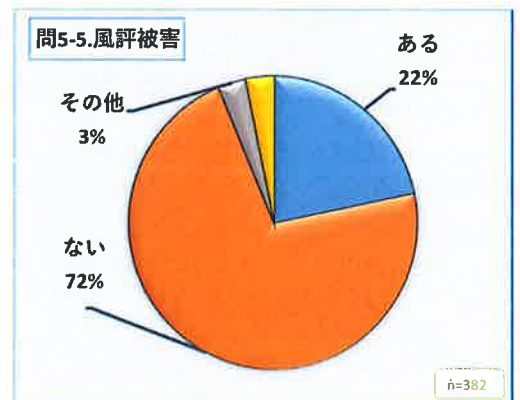
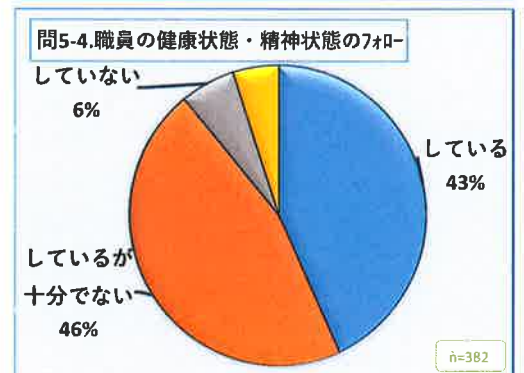
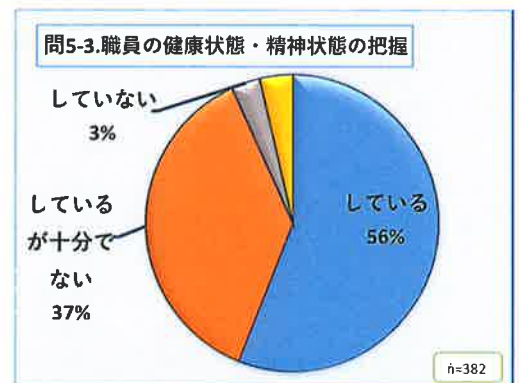
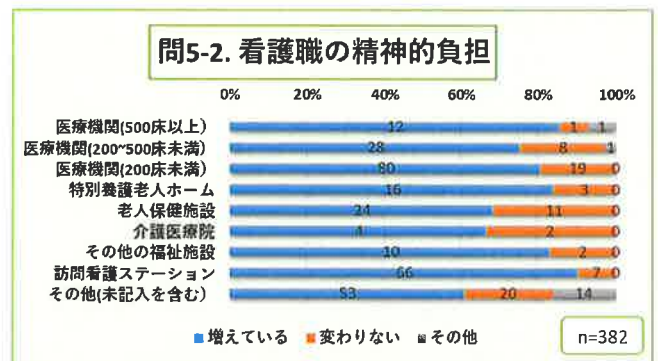
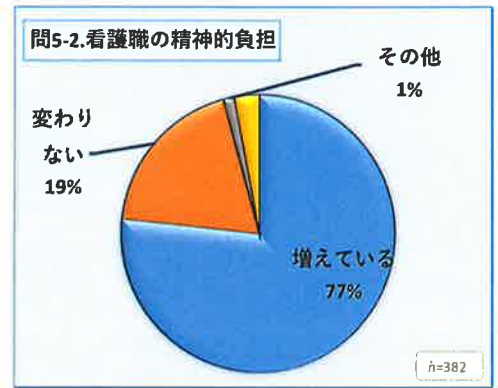
問5-4.職員の健康状態・精神状態へのフォロー	施設数
している	165
しているが十分でない	175
していない	23
未記入	19

健康状態の把握やフォローしている施設が43%である。「しているが十分でない」「していない」は併せて52%と半数以上ありフォロー体制の課題があると思われる。

問5-5.風評被害	施設数
ある	83
ない	275
その他	12
未記入	12

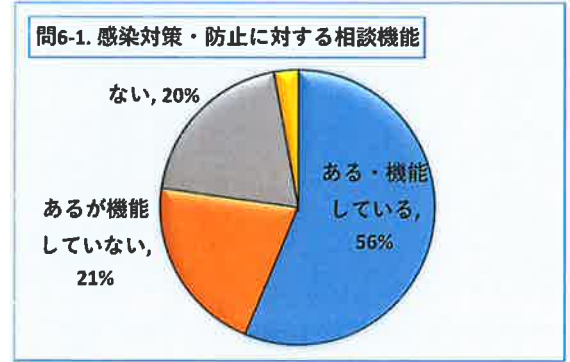
風評被害については「ない」が72%、「ある」が22%であるが別紙のような言動も見られている。

(内容については別紙③参照)



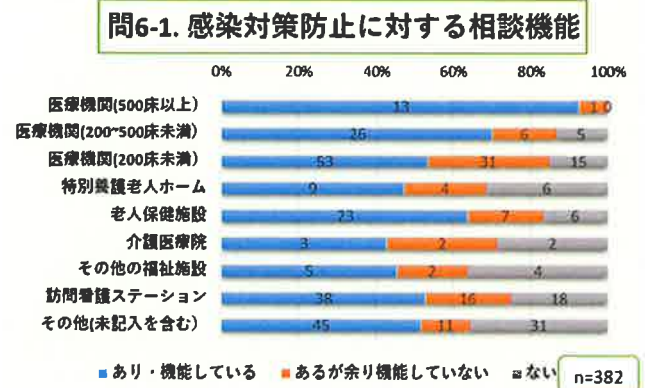
問6-1.感染対策・防止に対する相談機能	施設数
ある・機能している	215
あるが機能していない	80
ない	76
未記入	11

感染対策に対する相談機能が「ある・機能している」施設が 56%であった。



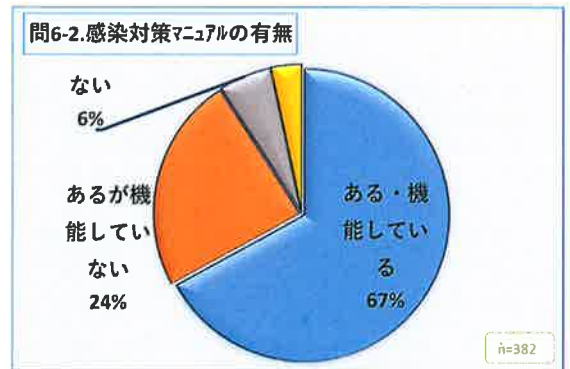
問6-1. 感染対策防止に対する相談機能	あり・機能している	あるが余り機能していない	ない
医療機関(500床以上)	13	1	0
医療機関(200~500床未満)	26	6	5
医療機関(200床未満)	53	31	15
特別養護老人ホーム	9	4	6
老人保健施設	23	7	6
介護医療院	3	2	2
その他の福祉施設	5	2	4
訪問看護ステーション	38	16	18
その他(未記入を含む)	45	11	31

施設別にみると介護施設や訪問看護ステーションでは相談機能が弱いことが分かった。



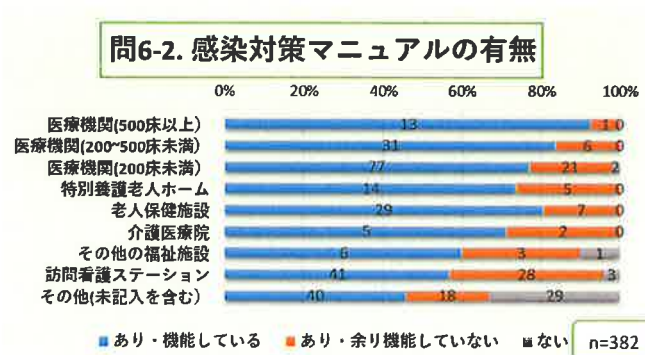
問6-2.感染対策マニュアルの有無	施設数
ある・機能している	256
あるが機能していない	91
ない	22
未記入	13

感染対策マニュアルがあり、機能している施設は 67% 「あるが機能していない」は「ない」と併せると 30%であった。



問6-2. 感染対策マニュアルの有無	あり・機能している	あり・余り機能していない	ない
医療機関(500床以上)	13	1	0
医療機関(200~500床未満)	31	6	0
医療機関(200床未満)	77	21	2
特別養護老人ホーム	14	5	0
老人保健施設	29	7	0
介護医療院	5	2	0
その他の福祉施設	6	3	1
訪問看護ステーション	41	28	3
その他(未記入を含む)	40	18	29

施設別にみるとマニュアルは多くの施設で存在しているが、介護施設や訪問看護ステーションは十分に活用されていない。



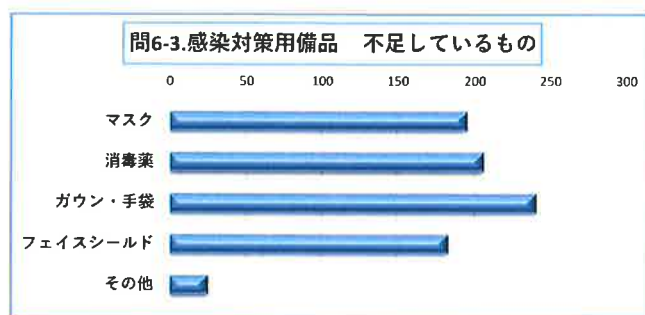
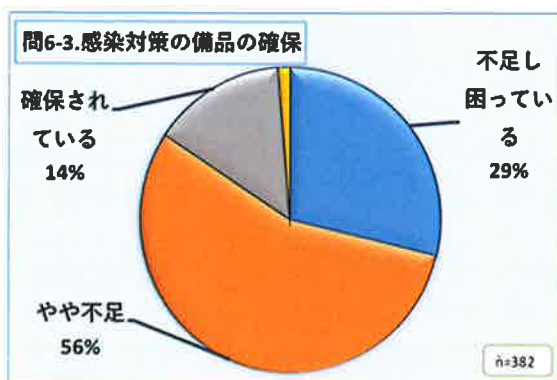


問6-3.感染対策の備品の確保	施設数
不足し困っている	110
やや不足	212
確保されている	55
未記入	5

感染対策の備品は不足して困っている施設は 29% でやや不足している施設は 56% であった。合わせると 85% となった。

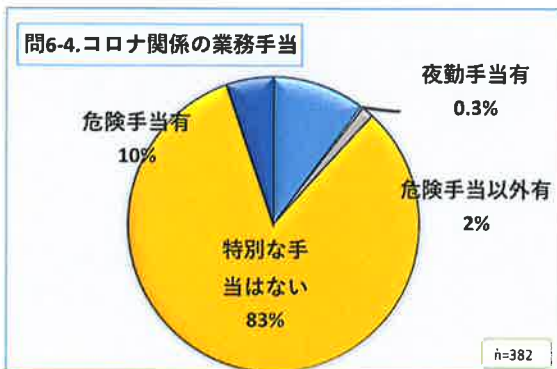
問6-3.感染対策備品 不足しているもの (複数回答)	回答数
マスク	195
消毒薬	206
防護具 (ガウン・手袋)	241
フェイスシールド	183
その他	25
未記入	1

不足している備品はガウン・手袋が最も不足しており消毒薬、マスク、フェイスシールドと続く。



問6-4.コロナ関係業務手当	施設数
危険手当がある	39
夜勤手当がある	1
危険手当以外の手当がある	5
特別な手当はない	318
未記入	19

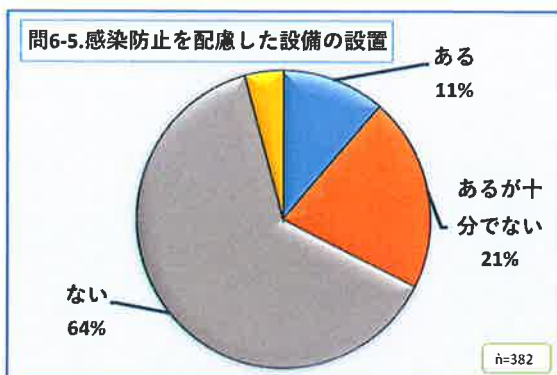
新型コロナウイルスに関連する手当は 12% の施設で何らかの手当を用意しているが 80% 以上の施設では「ない」と回答している。手当については 180 円~4,000 円/日の幅があるが 3,000 円/日が多かった。



問6-5.感染防止を配慮した設備の設置	施設数
ある	43
あるが十分でない	81
ない	242
未記入	16

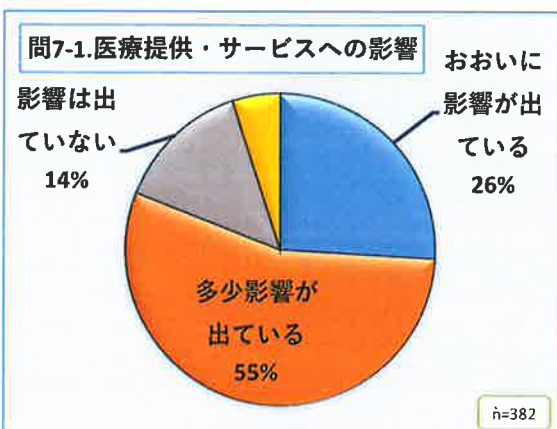
新型コロナウイルスに対応した設備は 11% の施設で「ある」と回答している。あるが十分でない施設は 21% 「無い」と答えた施設が 64% であった。

(別紙④参照)



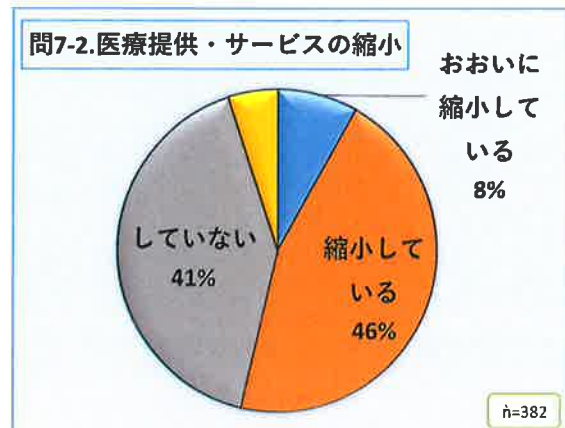
問7-1.医療提供・サービスなどの影響	施設数
おおいに影響が出ている	100
多少影響が出ている	210
影響は出ていない	54
未記入	18

医療提供・サービスなどは影響が甚大で 80% 以上の施設であると回答している。



問7-2.医療提供・サービス提供の縮小	施設数
おおいに縮小している	31
縮小している	174
していない	158
未記入	19

50%以上の施設でサービスの提供の縮小をしている。縮小したサービスは、外部から講師を招くレクリエーションや催事、一部の手術や検査、訪問回数などであった。



## まとめ

静岡県においては、「緊急事態宣言」の解除直後の実態調査であり、調査期間も短い中、多くの施設代表者の方よりご回答を頂き、ありがとうございました。

今まで経験したことがない状況、これからどうなっていくのか見えない中で、感染対策として、急遽、業務の内容の変更を余儀なくされ、看護職の身体的・精神的負担の大きさを知ることができました。

また、500床以上の医療機関においては、感染管理認定看護師等がすべて在籍しており、相談機能、感染対策マニュアル等も機能している反面、200床未満の医療機関や介護施設等や訪問看護ステーションにおいては、感染管理認定看護師の在籍も少なく、相談機能も弱いことが明確になりました。看護協会としては4月8日より、新型コロナウイルスに関する相談の窓口を協会内に立ち上げています。また、「高齢者施設・訪問看護ステーションにおける感染マニュアル」をホームページに公表しております。希望する施設等に感染管理認定看護師の派遣も始めました。このような協会としての活動や情報提供を会員の皆様にもっと積極的に行っていく必要性を感じております。

皆様から頂いたご意見・ご要望をしっかりと受け止め、迅速かつ的確に静岡県看護協会としての役割を果たしていきたいと考えております。